

とっとり 県議会だより

令和6年6月定例会
(2024)

No.049
Jun.
6月
議会

主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~7p
常任委員会活動	8p
県議会トピックス	9p
議決結果	10~11p
お知らせ	12p



青谷弥生人の復顔像の展示を見学



スタッフと一緒に、子どもたちが「火おこし」に挑戦!



弥生人に扮した参加者が「ティラノサウルス」を「捕獲」



再現された弥生のムラを散策



土器の発掘体験

むきぼんだ史跡公園



青谷かみじち史跡公園展示施設
「YAYOINE」

青谷かみじち史跡公園
公式キャラクター
あおやかみじろう

6月定例会の概要 (6月12日~7月3日)

開会日の6月12日に、平井知事から総額63億9千万円余の令和6年度鳥取県一般会計補正予算(議案第1号)など12議案が、また6月21日に、平井知事から鳥取県公安委員会委員の任命など6議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党が行い、一般質問には22名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

○予算	《可決3件》	○条例	《可決・承認6件》
○人事	《同意6件》	○その他	《可決3件》

【議員提出議案】

○会議規則	《可決1件》	○意見書	《可決2件、否決1件》
-------	--------	------	-------------

【請願】 《不採択2件》

【陳情】 《不採択14件》

表紙の写真

連休で賑わう とっとり弥生の王国

5月の大型連休、青谷かみじち史跡公園、むきぼんだ史跡公園では連日イベントや展示が催され、多くの来場者が訪れました。

特に3月24日にオープンした青谷かみじち史跡公園展示施設「YAYOINE」は、青谷弥生人の復顔像の展示などを目当てにたくさんの方で賑わいました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



川部 洋議員
選挙区 倉吉市



人口減少対策の方向性

問 人口の自然減を増加に転じるには出生率を2.07以上にしなければならぬ。自治体間で対策を競い合うのではなく、国の責任においてオールジャパンで出生率の向上に取り組みべきではないか。

答 国もようやく動き出したという感があり、少子化対策をてこ入れしてもらう必要がある。ただ婚姻率の問題について国も考えるべきだが、例えばマッチングなど絶対やらないので、せめて地方でやっているのを応援してもらう必要があると考えている。

問 人口の社会減は自治体だけでは解決できない構造的な問題であり、減少する人口を自治体間で奪い合いにならないようにすべき

である。東京一極集中の問題は、地方の人口を維持するために、これまで以上に国に是正を求めることが必要ではないか。

答 岸田政権になってから所信表明演説で東京一極集中という言葉を使ったことは無く、この度の骨太の方針にも書く機運は無かったが、有志の知事で相当働きかけて地方創生の新たな展開という言葉で入れ込んだことが第一歩だった。少子化問題や東京一極集中がこの国の中心課題という認識は外して欲しくない。これからが本場の勝負どころであり、この問題意識を国政のご真ん中に投げ込んでいくよう努力したい。

問 人口減少の根本的解決は出生率を2.07以上にして出生数を増加に転じさせるしかない。人口減少は始まったばかりであり、地道に取組を続けても成果が出るのは数十年先で、問題が深刻になるのはこれからである。人口減少に負けない社会の構築にこれまで以上に優先して取り組むべきだと考えるがどうか。

答 人口減少社会でも生き続けることができる暮らしやすい持続可能な地域づくりというのがこれまでも政府の問題意識に無かったが、入れるべきだと考えている。鳥取県では市町村と協力して交通・買物・医療など支援の輪を広げてきており、独特のアプローチを行ってきた。世の中もそういう問題意識を持ち始めており、我々は人口減少に負けない社会づくりに旅立つ必要がある。

集落の持続可能性

問 人口減少に負けないまちづくりの方向性として、人口が減少した集落でも住み続けられるように最低限必要な生活インフラを公的に整備する一方で、生活インフラを維持するために、政策的に居住を誘導し、拠点となる地域に都市機能を集約することについてどう考えるか。

答 集住化のような考え方をやってみるところと、地域の中で支え合いの買物や交通などを考えていくべきところを見極めながら、それぞれの地域で議論し選択肢を考えて、それをある程度、公が支えていかなければいけないという時代認識を持つている。

県や市町村の行政機能の維持

問 市町村は、人口が減ったとしても、住民の暮らしを守るために必要な行政サービスを提供し続けなければならないが、人口減少で単独の市町村だけでは行政機能を維持することができなくなりつつある。広域自治体の役割として、県が市町村の業務を今後さらに補完・支援することが必要になると考えるがどうか。

答 これからまだまだ人口が減っていく中で、自治体をフルスペックで維持できるかどうかというのをもう一度見直すタイミングに入りつつあるのかなと思っている。鳥取県ではこれまで日野郡などで先行的に取り組んできたが、市町村の力量には限界があるということをお互いに認め合って、相互補完関係を追求していきたい。

問 人口減少は県の行政機能の持続可能性にも影響するが、今後の人口の激減がもたらす県庁業務への影響と、それに対して具体的にどう行政改革に取り組むのか。そして、その進捗や成果をどう検証するのか。

答 財政運営、組織づくり、行政運営の3つを中心に行政改革プランを立て、若手職員の目線で改善を進めているが、最終的には財政の機動性柔軟性を確保するために財政誘導目標を守ることが大切。

一般質問

6月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。
 本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
 ※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会



答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部署長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
 【民主とっとり】鳥取県議会民主とっとり
 【公明党】公明党鳥取県議会議員団



前田 伸一
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

若手産業人材の確保と定着について

問 ①離職率の高い若者の定着に向けて産業振興未来ビジョンにおける指標の見直しと取り組みの再検討を②高校でのふるさとキャリア教育強化を③高校の枠を超えて地域課題に地元企業と取り組む高校会議所（※1）への支援を。

答 ①指標の見直しについて協議し、若者の力を発揮できる会社作りに繋がるセミナーを普及させたい②（教育長）充実に努めてまいりたい③高校生の地域活動を支援する補助制度等で応援したい。（教育長）優れた取り組みの見本であり支援したい。



村上泰二郎
議員



選挙区 西伯郡
会派 民主とっとり

風力発電の放置対策・体罰等の防止体制等

問 ①県西部等の大規模風力発電で地上権契約により撤去できず放置のリスクを懸念②体罰や不適切指導事案では学校や教育委員会の調査は困難。調査・是正権限のある第三者機関が必要だ③カメムシ対策1500万円予備費追加の英断を支持する。

答 ①鳥取県独自で撤去に備えた供託・積立制度をつくり、負の遺産を残さない②第三者的な調査の権能を担保して、当事者に寄り添った仕組みづくりをする③思い切った防除対策が出穂期に間に合うよう判断した。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

映画「ルート29」による魅力プロモーション

問 ①国道29号が舞台の映画「ルート29」の公開を契機とした賑わいづくりの可能性について所見を伺う②県内にある映画などの撮影地としての魅力を磨き「ロケツーリズム」を推進すべき。

答 ①周遊ツアー実施を検討するなど、どのように仕掛けていくか、兵庫県や市町村、映画関係者と協議する②ロケ地となり得る本県の魅力的な撮影地を広報してきたが、シネマツーリズムは今後も発展が見込まれるため、今後もフィルムコミッションに注力し地域振興を展開していく。

前住 孝行 議員 

選挙区 八頭郡
会派 無所属

①相続登記の事業推進
②歩道整備の視点展開

問 ①市町村とも連携しながら所有者不明土地の状況把握し、未利用土地を活用していくべきと考えるが②災害時の避難所へのアクセスを想定した歩道整備について、障がい者や高齢者にも意見を聞く機会を持つべきだと考えるが。

答 ①もっと制度を分かりやすく提示していかないと不動産相続登記の義務化PRだけではなかなか上手く回らない。関係者ともよく協議し円滑に制度の施行が進むように、我々も協力したい②今後も工夫をして、地元寄り添った対応を取ってまいりたい。

前原 茂 議員 

選挙区 米子市
会派 公明党

スマート農業の促進について

問 今後20年間で農業従事者が現在の4分の1に、116万人から30万人まで減少が見込まれている。安定的な食料供給のため、国会では、スマート農業技術活用促進法が可決された。本県におけるスマート農業の現状を伺う。

答 スマート農業は、省力化、技術の習得、品質の向上や生産技術の高度化など、非常に有効である。本県においても、令和3年度より自動操舵トラクターは40台以上、ドローンも26台など急速に増加している。スマート農業の活用が県内に広がっている。

河上 定弘 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

人材育成と確保、所得向上への取り組み

問 ①米子高専と企業・団体と鳥取県との共同教育など県内企業の人材確保に繋がるような取り組みを展開すべきでは？②待望されるインドの高度IT人材の県内の育成・受け入れ体制を整備しては？③工賃向上に繋がる「福祉×アート」の取り組みを関西万博や県立美術館で展開しては？

答 ①人材育成も兼ね、協調して事業展開していきたい②インドの高度IT人材確保に向けた道筋を切り開いていきたい③作品の展示などを実現したい。また、グッズ販売も考えたい。

山川 智帆 議員 

選挙区 米子市
会派 無所属

①公営住宅のあり方
②淀江産廃の安全性

問 ①人口動態・世帯属性に応じて県営住宅の入居資格を見直しては。公営住宅の必要戸数・総量を市町村と一緒に検討しては②西部広域は一般廃棄物処分場をオープン型にする予定を住民の要望でクローズド型にした。県も淀江産廃について、再度クローズド型の比較検討をしては。

答 ①入居資格、優先入居の対象の見直し、必要戸数・総量については、関係団体の意見を聞いて検討したい②オープン型で申請がなされてきているので、これを厳密に審査するのが県の責務である。

玉木 裕一 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

給食の無償化で子育て王国とっりの充実を

問 学校給食の市町村格差を県が前衛的にサポートする事により、子育て世代や子どもたちに“子育て王国とっとり”を強く実感してもらう事が可能になると考える。

答 今日の提案も含めて次の予算時期までに、次の子育て施策を改めて市町村と話し合う。**(教育長)** 無償化が自治体間の競争を生み出したり財源の格差が子どもたちの子育ての格差に繋がる事はあってはならない。大切な視点であり、何らかの支援はやはり必要だ。これまで以上に国に要望を届けるよう努めて参りたい。

語堂 正範 議員 

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①白砂青松を守る
②稲作政策について

問 伐倒駆除の工期延期が続いている。松くい虫の被害を未然に防ぐためにも工期を守る必要があるのでは？

答 年度内に駆除が完了するよう、適切な工区の設定、適期の発注を行い、松くい虫被害の未然防止を着実に進める。

問 気候変動などの影響により、コシヒカリの1等米比率が大きく低下している。新しい品種の検討、体制整備が必要と考えるがどうか？

答 新しい体制もつくり、暑さに負けない米づくりを目指し取り組んでいく。

尾崎 薫 議員



選挙区 鳥取市
会派 民主とっとり

**鳥大の教員養成・日本初
女性弁護士中田正子**

問 鳥大に教育学部・学科があるのが望ましい。県内で教職に就いたら奨学金免除を。

答 大学も改革して欲しい。県も汗をかく。奨学金について大学との協議で議論する。

問 私の調査では鳥大で免許取得可能と6割の学生は知らない。情報発信、高大連携、計画的採用計画が必要。

答 (教育長) 連携交流に努め採用計画も出来るだけ示す。

問 中田正子さんを広めるため、よりん彩のパネル展の折に「虎に翼」制作統括の尾崎氏の講演を開催したらどうか。

答 企画し顕彰する。

山本 暁子 議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

有害鳥獣対策について

問 ①捕獲個体は埋設以外の処理が好ましい②一定期間、豚熱陽性の発見がないエリアの解除と感染個体廃棄に対しての支援を③市街地などに出没したクマなどの捕獲対応のために現場経験豊富な若手のエキスパートを育てるべき。

答 ①できれば利活用する、地元と一体化しながら埋設をなくしていくのが一番いい。市町村と話し合い、促進措置など考える②国に要望予定。現場の状況のみて機動的に対処する③新しい鳥取型の進化を検討したい。指導者育成コースもスタートする予定。

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

**万博、教員、給食無償化、
精神障がい、産廃**

問 万博会場はメタンガス爆発発火危険。子ども送らないで②教員採用一次試験免除は2年講師の条件外して③鳥取で働く教員に奨学金返済免除を④市町村と学校給食無償化協議⑤県が実態調査し精神障がい者医療費助成拡大を⑥軟弱地盤の淀江産廃計画なぜ止めない⑦美保基地C2輸送機のミサイル発射研究所感。

答 ①(教育長)安全対策の情報提供努める②(教育長)ご理解を③検討すべき④協議する⑤行う必要ない⑥対策は審査対象⑦ジェット戦闘機基地にしない覚書を遵守して頂く。

東田 義博 議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**環境対策・脱炭素の
取組みについて**

問 脱炭素の達成状況、鳥取P P A(※2)の普及拡大、NE-S T(※3)健康住宅の取組、廃プラ対策の推進、電気自動車の普及と充電施設の空白地帯解消について伺う。

答 脱炭素の進捗率は大体3割であり、ペースアップを図る。P P Aの導入実例を重ねている。NE-S T住宅は4割近く採用され、賃貸建物にも広がっている。プラスチックの分別収集の実証実験に取り組む自治体を応援する。電気自動車の普及は脱炭素に向けて重要であり、県内の充電施設空白地帯の解消を図る。

坂野経三郎 議員



選挙区 鳥取市
会派 民主とっとり

**命を守る防災対策
カスハラ対策**

問 第8普通科連隊長も必要性を言及された。県庁には、成功させるだけの人材が揃っている。県民の生命と財産を守るため、自衛隊と連携した防災訓練を実施すべきでは。

答 重要であり、挑戦したい。
問 土下座の要求を受けた県内の労働者から、「カスハラ条例を制定して欲しい」と聞いた。条例制定を目指す他県もあるが、所見を問う。

答 8月に、県内1500事業所に調査を実施する。啓発、企業の仕組みづくり、社会環境の整備、そのための助成制度の検討を優先する。

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

**視覚障がい者支援を
美歎川の水質浄化を**

問 ①視覚障がい者にとって点字ブロックは命綱、一斉点検と改善を②歩行訓練士の育成と県東中部へ配置を③点字ブロックの設置を④エスコートゾーンの設置と音響式信号機に更新を⑤美歎川の水質悪化問題。発生源も見えてきており、しっかり対策を。

答 ①連携会議をつくり、早急に解消を図る②充実について検討する③増やすことは論を待たない④(警察本部長)必要箇所の整備と補修に努める⑤地元と協議の場をつくり、原因を明らかにし対策あれば、実行する。

中島 規夫 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**豪雨災害での対応と
復旧、自衛官の確保**

問 ①昨年7月の台風7号による豪雨の際、住民からの通報に対応できたのか。また、災害復旧事業の発注状況は②県民の安全と安心を守る自衛隊の重要性の認識は。自衛官の確保の取組状況は。

答 ①東部消防管内で71件、中部消防管内で11件の通報があったが全件に対応。復旧に向けた公共土木事業の契約率は約7割。各地域で進捗を図っている②自衛隊の組織力技術力は危機管理面において必須であり、その活動に感謝。自衛官の募集に市町村と積極的に取り組んでいく。

入江 誠 議員 

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①災害用井戸②オンライン立会③主権者教育

問 ①断水時飲み水の確保が最優先だが、風呂水・トイレ水・洗濯水に不便を感じる。災害用井戸の活用が有効では②本県におけるオンライン立会いの必要性は③小中学校の段階から主権者として政治や社会を自分事のように考えることが重要。

答 ①準備ができていない市町村も検討が進んだ②投票所立会人の数を守るよりも、投票箱を守る公職選挙法の運用をスタートさせたい③(教育長)子どもたちが地域社会に参画し、まちを良くするなど意識の醸成を検討し進める。

鳥羽 喜一 議員 

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

県立美術館の駐車場対策と教員の成り手不足

問 県立美術館のために新しく構築された駐車場は約140台のみで、心もとない。旧市街地の駐車場と県立美術館を結ぶループバス運行を倉吉市と連携し運行できないか。

答 倉吉市の構想に対して協議し、応援させていただく。

問 学校現場の教員を支える体制を強化すると共に、教育委員会への教員の異動の緩和を念頭に、教育行政のプロを育成する教育行政職採用を導入できないか。

答 (教育長)教育行政のプロを育てることは効果的なやり方であり、検討するに値する。

浜田 一哉 議員 

選挙区 境港市
会派 自由民主党

**①本県における防災対策
②港湾の進展**

問 ①大規模災害時には共助が大切。自主防災組織の活動実態と自治会への加入減少について問う②コンテナターミナル、公共マリーナの拡張、バリアフリー化など今後の港湾整備には体制強化が必要ではないか。

答 ①加入促進を図る市町村の取組を奨励し、自治会もバックアップしながら、自主防災組織を強化していく②境港管理組合もポートセールスのための部局を確立し拡大、充実を図ってきた。体制についても、島根県と協議をしながら、今後も展開を図っていく。

福浜 隆宏 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**①ムービングハウス
②俯瞰カメラ③園庭芝生**

問 ①仮設住宅は資材と人員不足で供給が追いつかない。内装まで完備したムービングハウスは有効で協会と協定を②河川決壊を想定して俯瞰で監視できるカメラ増設と3次元画像を地図化できる新システムの活用を③園庭の芝生化を支援する国の制度創設を機に、市町村への普及啓発と本県で全国フォーラムの開催を。

答 ①協定含め仮設住宅提供の形態を増やす戦略で臨む②今年度2カ所に俯瞰カメラ設置予定。新システムも検討③国の制度周知を市町村に呼びかけフォーラムも検討する。

西村 弥子 議員 

選挙区 米子市
会派 無所属

**①生涯の命と健康
②山陰柴犬③ワイン産業**

問 ①「更年期障がい」の『障がい』が相談しにくい一因だ。「『更年期』相談支援センター」には。全ての児童生徒に国際標準の「包括的性教育」を。学習指導要領改定を含め国に要望求む②「山陰柴犬」保存活動に協力願う③人手不足の6次産業・ワインの現場で頑張る若者にエールを。

答 ①愛称等工夫して多様な感覚に沿い入りやすくしたい。(教育長)他県と情報共有し包括的性教育の実践的な取組を進める②皆様の活動を後押しして対策を考える③応援し地域・関係者と共に歩む。

用語の説明

3ページ

(※1) 高校会議所…富士宮市が発祥の、高校生等が主体となって地域振興や地方創生について学び、実践する取り組み。

5ページ

(※2) P P A …「Power Purchase Agreement (電力販売契約)」の略称。企業や個人が保有する施設の屋根や遊休地に無償で太陽光発電設備を設置し、電気を供給する仕組み。

(※3) N E - S T …「Next Standard」の略称。鳥取県が独自に設けた、家の「断熱」と「気密」についての次世代型の性能基準。

新会派の結成

浜田妙子議員ほか、計6名によって、「鳥取県議会民主とっとり」が結成されました。



伊藤 保

議員



選挙区 東伯郡

会派 民主とっとり

山陰道で単独事故多発 昨年は520件余り発生

問 令和5年の資料だが、山陰道、鳥取道、米子道で740件余りの交通事故が発生している。その7割にあたる520件余りは山陰道で発生している。事故原因の分析と対応は。

答 (警察本部長) 事故の大半は、ワイヤーロープ接触事故が原因。正面衝突の事故防止効果は発揮されている。事故は14時から18時の時間帯に多く発生し、事故原因は一瞬の居眠りなど前方不注意の割合が高い。フロアジャッキ等を導入し、事故車両撤去のための通行止めの時間短縮に努めている。

議会事務局からのお知らせ

請願・陳情の提出期限が変わります

令和6年9月定例会から、請願・陳情の提出期限が、開会前に開催される議会運営委員会の日の翌日(休日の場合は翌開庁日)の正午(必着)に変更されました。これにより、概ね開会初日の6日前の正午が提出期限となります。具体的な日付は、定例会ごとに決定されますので、詳細は県議会ホームページをご確認ください。

県議会議員の政務活動費および資産等の公開

「令和5年度政務活動費収支報告書」及び「令和5年度資産等補充報告書等」の閲覧は次のとおりです。

○時間 午前8時30分から午後5時15分(閉庁日を除く。)

○受付 県議会事務局総務課(議会棟本館2階)

※政務活動費の収支報告の状況や領収書等は、鳥取県議会ホームページでも公開しています。

鳥取県議会 政務活動費



議員の就任

令和6年3月の補欠選挙により、2名が鳥取県議会議員に就任しました。

玉木 裕一 議員(鳥取市選挙区)

山本 暁子 議員(鳥取市選挙区)

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎ 6月定例会審査結果（議案）

職員の介護と仕事の両立を図るため、介護時間について従来3年間としてきた活用年数の制限を撤廃する「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」等の一部改正のほか、デジタル人材育成に向けた高等学校の環境整備を含む一般会計補正予算など4議案について、慎重に審査を行い、全て原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎ 6月定例会審査結果（陳情）

新たに提出された「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択について」を含む5件の陳情について、慎重に審査を行った結果、いずれも「不採択」とすべきものと決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎ 6月定例会審査結果（議案）

物価高騰に伴う生活困窮者支援や保育人材確保に向けて就学資金貸付制度の全面的な見直しなどを行う一般会計補正予算や、保育所及び認定こども園の職員の配置基準に係る特例措置の適用期間を延長するための条例の一部改正など、5議案について慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

◎ 6月定例会審査結果（陳情）

機能性表示食品に係る安全性審査の厳格化を求める陳情について、国において機能性表示食品制度の信頼性を高める措置を今後講じる予定とされていることから、「不採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会



スマート農業最新技術の体験（北海道）

◎ 6月定例会審査結果（議案）

官民連携による平時や災害時でのドローン活用の推進事業や、ため池や頭首工などの土地改良施設の防災・減災化の公共事業等を含む議案2件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎ 県外調査（7/8～7/10：東京都、北海道）

都内のアンテナショップについて、リニューアルした本県施設や新規オープンした石川県施設を訪問し、改善点や来店者の動向変化等を調査した。また、農業分野は、スマート農業の最新技術を体験するとともに、実践経験が長い有機農業会社を訪問し、学校の食育体験等を通じた農法の地域の理解構築への取組等を調査した。

地域県土警察常任委員会



◎ 6月定例会審査結果（議案、陳情）

能登半島地震を踏まえた大規模災害時の防災及び減災を図るため、県民の責務について見直す「鳥取県防災及び危機管理に関する基本条例」の一部改正のほか、感震ブレーカーの設置促進、共助の取組への支援、ねんりんピック鳥取大会に向けてのライドシェアの取組支援等を含む令和6年度一般会計補正予算など4議案について慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、「防衛装備移転三原則」の運用指針改定に反対する意見書の提出について」など新たに提出された陳情6件について審査し、いずれも「不採択」と決定した。



東京2025ジャマイカ選手団 キャンプ協定締結記念行事

5月30日(木)、鳥取市内において、「2025東京世界陸上事前キャンプに係るジャマイカ陸上競技連盟(JAAA)との協定締結式・レセプション」が開催された。

これまで鳥取県とJAAAは、子どもたちを対象とした陸上セミナー、指導者交流、布勢スプリントへの若手選手招聘など、数々の交流事業を展開してきた。

協定式の席上、ガス・ゲイルJAAA会長は「鳥取を故郷のように感じており、これまで育てきた友情がある。」と話し、浜崎議長(ジャマイカ・鳥取友好議員連盟会長)も「陸上界のスターであるジャマイカ選手団が、2025年に再び鳥取県民を熱狂させ、子どもたちに夢を与えてくれることを期待する。」と応じた。



インド大使の議長訪問

5月31日(金)、シビ・ジョージ駐日インド共和国大使が浜崎議長を表敬訪問した。

ジョージ大使からは、インドと鳥取県との経済関係の強化を前向きに進めるため、①経済・ビジネス・観光・高度人材活用といった内容のセミナーを開催したい。②駐日インド大使館で「とっとりDAY」を開催したい。③鳥取県の経済界の皆さんにインドにお越しいただきたい。④鳥取県議会に「インドとの友好議員連盟」を立ち上げてほしい。などの提案があった。

浜崎議長は、今後も飛躍的な経済発展が見込まれるインドといち早く協力関係を築き、観光誘客や県産品輸出などの経済交流、高度IT人材誘致を進めることの重要性を強調し、駐日インド大使館の協力を要請した。



関西広域連合議会で鳥取県選出議員が活動

関西広域連合では、ドクターヘリの活用等による広域緊急医療体制の充実、相次ぐ自然災害でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援など、関西全体の連携による防災力強化に向けて着実に取り組んでいます。このほか令和3年11月に発出した「関西脱炭素社会実現宣言」に基づく温暖化対策など関西一丸となった取組も行っています。また、今後、「2025年大阪・関西万博」、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」という世界中から関心が集まる絶好の機会を捉え、官民の力を結集した広域的かつ戦略的な取組を行うこととしています。

関西広域連合議会には、本県議会から坂野議員(鳥取県議会民主とっとり)、内田議員(鳥取県議会自由民主党)が選出され、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。



関西広域連合議会における主な質問事項



坂野 経三郎 議員

- ドクターヘリについて
- 若者の政治参画について
(令和6年3月定例会一般質問)



内田 博長 議員

- 自治体立病院のあり方について
- 総合診療医の養成について
(令和5年11月臨時会一般質問)

自由民主党										民主とっとり					公明党			無所属					賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果						
島谷龍司	斉木正一	福田俊史	内田博長	内田隆嗣	浜田一哉	鹿島功	安田由毅	語堂正範	野坂道明	浜崎晋一	村上泰二朗	坂野経三郎	浜田妙子	尾崎薫	興治英夫	伊藤保	前田伸一	前原茂	銀杏泰利	玉木裕一	前住孝行	西村弥子					山川智帆	松田正	福浜隆宏	市谷知子		
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	11	23	34	否決		
委員長報告に対する賛否 ※請願・陳情への賛否ではありません																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	32	2	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	除	31	2	33	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	32	2	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	23	11	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	23	11	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	24	10	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑬	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
⑭	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑮	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑯	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑰	鳥取県収用委員会予備委員の任命について	同意
⑱	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
①	鳥取県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
②	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
③	防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進を求める意見書	可決

令和6年6月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます →



自由民主党							
東田	入江	河上	鳥羽	山本	川部	中島	広谷
義博	誠	定弘	喜一	暁子	洋	規夫	直樹

議案等番号	件名									
①	令和6年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑤	鳥取県児童福祉施設に関する条例及び鳥取県認定こども園に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑩	事業契約（鳥取県立美術館整備運営事業）の締結及び公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立美術館）についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑫	鳥取県防災及び危機管理に関する基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
④	政治資金に関する透明性確保を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	
議案等番号	件名	委員長報告								
請願6年-15	議会運営委員会委員の決定について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
請願6年-16	議員の発言の議事録からの削除について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-06	機能性表示食品に係る安全性審査の厳格化について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-07	「防衛装備移転三原則」の運用指針改定に反対する意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-09	地方自治法改正案に反対する意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-10	電子会議室を使った簡易決裁における決裁記録の透明化について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-11	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-12	消費税減税等の検討を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-13	「キャッシュレス限定バス」に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-14	新型コロナウイルスワクチン接種の範囲拡充と費用負担軽減に関する陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-17	島根原子力発電所に関して中国電力に説明を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-18	複合災害に対応した原子力災害対策指針の見直しを国に求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-19	複合災害時に対応した「原子力防災ハンドブック」の改訂を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-20	鳥取県ソーシャルメディア利用指針の遵守徹底及び各種指針の点検について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-21	現行健康保険証の存続について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-22	県民の声に係る回答の基準について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「除」除斥
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
②	令和6年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
③	令和6年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
④	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び県費負担教職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑥	警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑦	鳥取県宮病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑧	財産を無償で譲渡すること（八頭高等学校敷地）について	可決
⑨	損害賠償の額の決定について	可決
⑪	専決処分の承認について （1）鳥取県児童福祉施設に関する条例及び鳥取県認定こども園に関する条例の一部を改正する条例（令和6年3月29日専決）	承認

中国五県 議会正副議長会議を鳥取県で開催!

5月13日、鳥取市で中国五県議会正副議長会議が開催され、主催県として、鳥取県議会の浜崎議長が座長を務めた。鳥取県での開催は令和元年以来5年ぶり。

会議では、中国5県が共有する重要課題として、12件の要望を国に行うことを合意した。主な要望事項として、本年1月に発生した能登半島地震の教訓を今後活かすため、激甚化する災害から地域を守る防災・減災対策、国土強靱化の推進、物価高騰等に負けない地域経済の持続的な成長の実現、大阪・関西万博を契機とした戦略的なインバウンドの誘客促進、参議院議員選挙における合区解消などを取りまとめた。

中国5県の議長連名による要望書は、5月23日、関係省庁・県選出国會議員へ提出され、今後の国の施策への反映が期待される。



会議の冒頭、主催者挨拶をする浜崎晋一議長



会議の様子 (ホテルモナーク鳥取)

information

県議会からのお知らせ



9月定例会の日程案

期日	日程
9月13日(金)	本会議(開会・提案理由説明)
17日(火)	常任委員会
18日(水)	本会議(代表質問)
20日(金)	
25日(水)	
26日(木)	
30日(月)	本会議(一般質問・質疑)
10月1日(火)	
3日(木)	
4日(金)	
8日(火)	常任委員会 特別委員会
9日(水)	特別委員会
10日(木)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性あります。
 ※ 午前10時開始の予定です。



パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
 こちらから→



みなさまへ

「あなた」が読みやすい県議会だよりこそ我々が目指すべき広報誌です。今議会の県議会だよりはいかがでしたか。「良かった!」「読みにくい!」など、ご意見が我々の励みや力になります。「みなさんと共に作る紙面」を目指してご意見をお待ちしています。

(広報委員M)